

9月号 ㊦

うんのう魂



快と不快

校長 四本 博彦

令和8年度の2学期が始まり、早くも3週目になりました。始業式の日には、全校生徒58人全員が素敵な笑顔で登校し、とても幸せな2学期のスタートになりました。

現在、生徒たちは9月27日(日)の第79回体育大会に向け、全力で青春を謳歌（恵まれた状況や状態を思いきり楽しむこと）しています。

さて、私たちには、自分自身の心身の状態が心地よく、安心感や満足感を伴ったとき、その状態を持続したいと感じる「快」という感覚があります。また、その感覚とは真逆のストレスや違和感、不安、痛みなどを感じたときに、避けたい・終わらせたいと感じる「不快」という状態があります。

約40年前、私が中学生だった頃。馬根集落から伊仙中までの片道約7kmの道のりを往復自転車で通学していました。朝、7時頃には自宅を出発していたと思います。部活を終え、自宅に帰り着く頃には、周囲は真っ暗になっていた記憶があります。

天気の良い時は、まだいくらかは良かったのですが、雨が降ると通学が憂うつでたまりませんでした。雨に濡れなくなかったのも、雨合羽を着るのですが、学校に到着する頃には、雨合羽を着ていなかったかのように、雨合羽の中の服が汗でびしょ濡れです。服の濡れた不快な状態で、一日中授業を受けなければなりません。不快で不快でたまりませんでした。年に数回ではありましたが、伊仙に用事のある父親がトラックの荷台に自転車を乗せ、途中まで送ってくれたときの快適さは、今でも鮮明に覚えています。

夏の暑い時、暑さで乳幼児が泣き止まずに困るので、一日中クーラーの利いた快適な部屋で過ごさせているという状況についてどう思うかと、我が子が小さい時に聞かれたことがあります。

乳幼児が泣くのは、自分が不快であるということを周囲へ必死に訴えている状態であり、この時は一日何度でも沐浴(もくよく)をさせて、快適な状態にしてあげ、この不快な感覚と快適な感覚をしっかりと養った方がよいというのです。また、体温調節をするために汗をかくという状態を作るとは非常に重要で、そのことで乳幼児の汗腺の発達を促し、将来的にはたくましい体を作ることにつながるというのです。この話を聞いた時、私は「不快」の大切さに気づき、目からウロコが落ちたような気持ちになりました。

私たちが人生を豊かに生きていくためにも同じことが言えるのではないかと考えます。不快な状態・状況があるからこそ、快を求めることができるのではないのでしょうか。

親が、地域が、社会が、そして自分自身が、「快」しか求めなくなったとき、本当に子供たちは、そして私たち大人は成長できるのでしょうか？

「快」に辿り着くための「不快」の大切さを、改めて考えていきたいものです。その先には、必ず一人一人のひととしての成長があるはずですから・・・。

(※ 昨年の9月号では、アオムシがモンシロチョウになるときの本当の成長について書きました。)

全国学力・学習状況調査

平均正答率 (%)			IRTスコア	
	国 語	数 学	英 語	
本 校	49	41	本 校	450
県	62	52	県	476
全 国	63.9	57.0	全 国	499

本校の分析結果

【国語】文章を正しく読み取ったり、自分の考えを文章で表現したりする基礎力の定着に課題があります。

【数学】習熟度に大きな差が見られるため、基礎的な計算・概念に課題があります。

【英語】単語や文法の定着、および話したり書いたりする実践的な発信力の育成に課題があります。

【質問紙】

就寝時刻や朝食など規則正しい生活リズムが定着しており、平日にスマホ等を利用する生徒は全国に比べ大幅に少なく健康的な生活を送っています。また、「自分に良いところがある」と感じる生徒が9割に上り、将来の目標を持つ割合や学校・友人への信頼感も全国を大きく上回っています。日常的に10～30分未満の読書をする生徒も4割と定着しています。今後も家庭と連携しながら、生徒の健やかな成長と豊かな学びを支えてまいります。

生徒の記録

鹿児島県中学校総合体育大会水泳競技

7月22日(水)

女子200m個人メドレー 3分2秒62 中原 芽唯

女子400m個人メドレー 6分48秒92 中原 瑠唯

国土交通大臣杯 全国離島交流中学生野球大会

8月18日(火) 都万町民運動場 徳之島6-7 TOBA BLUE OCEANS

19日(水) 隠岐の島運動公園 徳之島6-7 壱岐

ライオンズクラブ杯 優勝

8月22日(土) 伊仙合同 2-0 天城・北合同 伊仙合同 5-2 徳之島合同

30日(日) 伊仙合同 18-0 沖永良部・与論合同

當島杯ソフトテニス大会

8月22日(土) ベスト4 富本 輝美・富岡 乃愛

児童生徒作文コンクール町審査

特選 大倉 奨希 元山 里莉 中原 芽唯 中原 瑠唯

入選 仲 彩華 宮永 恋珠

理科に関する研究記録展

特選 常 龍之介

入選 赤松 瑛太 清水 銀士 元山 里莉

米 晃希 泉 昊龍 澤 優寿希



知覧スピーチコンテスト



8月15日(土)、南九州市知覧で第37回平和へのメッセージ from 知覧スピーチコンテストが開催されました。応募総数1,083人の中から、4人が選ばれ、知覧文化会館でスピーチを行いました。本校からは、その4人のうちの1人として、中原瑠唯さんが出場し、平和へのメッセージを発表し、第2席の優秀賞を受賞しました。当日の様子は、南九州市のホームページで配信されていますので、ぜひ御覧ください。11月の文化発表会でも、発表予定です。

ロードキル防止標語

入選 常 龍之介

一人一人の 意識でなくそう ロードキル！

入選 大倉 悠慎

守ろうよ 世界の宝 クロウサギ

徳之島町及び天城町の道路に掲示板が設置される予定です。

地域の皆様からの支援

伊仙町商工会議所様から、1万円の商品券の寄付をいただきました。教育活動充実のために有効活用させていただきます。ありがとうございます。